

申請中	
NS-315 (トリアムロール塩酸塩)	グリネンター社(独)から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。軽度から中等度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛を適応症として平成20年7月に承認申請。
NS-17 (アザチジン)	セルジーン社(米国)から導入した骨髄異形成症候群(MDS)治療剤で、米国で第一選択薬として用いられている。平成20年12月にセルジーン社がEUで承認取得。全てのMDSサブタイプに効果が認められ、白血病(AML)への転化を遅らせる。作用機序は、血液形成細胞DNAのメチル化阻害。平成20年11月にオーファン指定。骨髄異形成症候群を適応症として平成21年12月に承認申請。
フェーズⅢ	
NS-11 (アガプロセト)	メルクセローノ社(スイス)から導入したアルコール依存症治療剤で、既に欧米で発売済み。国内では平成21年3月にPⅢ試験を開始した。
LY450190 (タダラフィル)	前立腺肥大症に伴う排尿障害の適応症については日本イーライリリーが国内PⅢ試験実施中。
NS-304 (海外)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI <sub>2</sub> アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。平成20年4月にアクテリオン社(スイス)への導出契約を締結。日本を除く全世界ではアクテリオン社が開発する。平成21年7月にPⅡ試験を終了し、平成21年12月にPⅢ試験を開始した。
フェーズⅡ	
NS-315 (トリアムロール塩酸塩)	慢性非がん性疼痛について、平成21年7月にPⅡ試験を開始した。
フェーズⅡ準備中	
NS-304 (国内)	国内は、アクテリオン社との共同開発。PⅠ試験を終了し、肺高血圧症のPⅡ試験開始に向けて準備中。
NS-187 (バフェチニブ)	イマチニブ耐性変異体Bcr-ablチロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する慢性骨髄性白血病治療剤として開発。平成17年末にサイトレックス社(米国)へ導出。PⅡ試験準備中。
フェーズⅠ	
NST-141	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待できる。アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を適応症として開発予定で、平成20年10月に大鵬薬品工業と基本契約を締結し、国内において共同開発・共同販売となる。平成21年5月にPⅠ試験を開始した。